

令和8年4月15日

保護者各位

南城市立馬天小学校  
校長 高島 友幸  
(公印省略)

## 児童の徒歩登校の奨励について (協力依頼)

時下、保護者の皆様におかれましては益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、みだしの件につきまして本校では、体力づくりや安全意識の向上、豊かな感性を育むことを目的として徒歩登校を奨励しております。

もし、お車で登校させる際は、児童の安全確保を考え下記の内容をご確認いただきご協力をお願いいたします。

つきましては、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 車で送る際の注意事項

①学校正門付近で児童を降ろすことはお控えください。

※渋滞を招き、児童の安全確保の困難に加え近隣住民のご迷惑になります。

②職員駐車場で児童を降ろすことはお控えください。

※職員の出勤時間と重なり、駐車場内が渋滞し児童の安全面に不安があります。

#### 2 その他

特別な理由があり、どうしても登校時に駐車が必要な場合は、学校へ連絡をして許可を得た上、来客用駐車場をご利用ください。その際、駐車許可証を発行いたしますので、お車のフロントガラス付近に示してください。

◇この件の問い合わせ

南城市立馬天小学校

教 頭 東恩納 盛仁

TEL : 098-947-6535 FAX : 098-947-6815

## 徒歩登校のメリットと安全対策

### 1. 体力づくりと健康維持

○毎朝の歩行は、子供にとって最も身近な有酸素運動です。

- ・基礎体力の向上

毎日歩くことで足腰が鍛えられ、心肺機能も高まります。

- ・脳の活性化

朝から体を動かすことで血流が良くなり、脳が「目覚めた」状態で授業に臨めます。

- ・生活リズムの改善

適度な疲労感や質の高い睡眠につながり、早寝早起きの習慣を助けます。

### 2. 交通ルールと安全意識の向上

○自分の足で道を歩く経験は、生きた「交通安全教室」になります。

- ・危険予測能力

「ここは車が飛び出してくるぞ」「雨の日はマンホールが滑りやすい」といった感覚が、実体験を通して身につきます。

- ・ルールの遵守

信号や横断歩道の使い方を日常的に実践することで、自然とマナーが定着します。

### 3. 豊かな感性と発見

○車等での移動では気づかない、季節の変化や街の様子を感じ取ることができます。

- ・五感の刺激

花の香り、風の冷たさ、鳥の声など、季節の移ろいに直接触れることで豊かな感性が育まれます。

- ・地域への愛着

街並みの変化に気づいたり、近所の人と挨拶を交わしたりすることで、自分が住む地域への関心が深まります。

### 4. 社会性とコミュニケーション

○特に「集団登校」などの場合は、対人関係を学ぶ貴重な場になります。

- ・リーダーシップと責任感

高学年が低学年の歩調に合わせたり、安全を確認したりすることで、思いやりの心や責任感が芽生えます。

- ・友達との交流

学校が始まる前のちょっとしたおしゃべりは、子供たちにとって大切なリラックスタイムであり、友人関係を深める機会です。

### 5. 自立心の育成

○「自分の力で目的地まで行く」という達成感は、小さな自信の積み重ねになります。

- ・トラブルへの対応力

忘れ物に気づいたり、急な雨に降られたりしたときにどうすべきか、自分で考えるきっかけになります。

徒歩登校はメリットが多い一方で、通学路の安全確認は欠かせません。時々、親子と一緒に通学路を歩いてみて、「この角は危ないね」といった具体的なコミュニケーションを取るのも、非常に効果的です。